

# 2019 年度 北京師範大学 派遣留学報告書

新潟国際情報大学 国際学部 国際文化学科

21018097 廣瀬祐大

## 目次

### 1 留学先及び留学期間

### 2 留学先概要

### 3 留学目的

### 4 留学内容

#### (1) 主なスケジュール

#### (2) 時間割と授業概要

### 5 自己評価・収穫

### 6 反省と課題

### 7 謝辞

### 8 付録

#### (1) 内モンゴル旅行日程

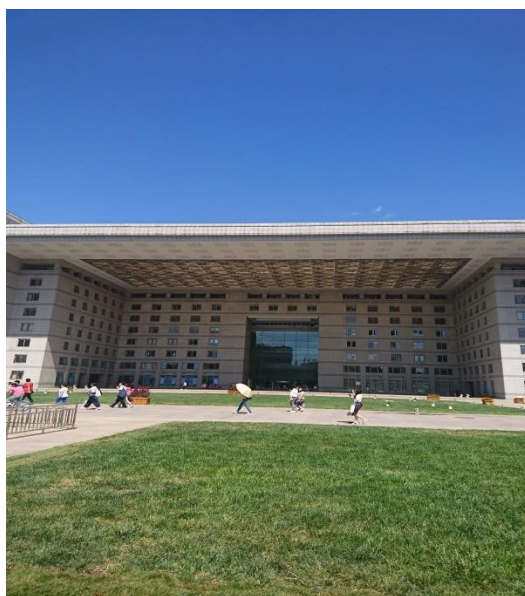
#### (2) 安徽文化考察日程

## 1 留学先及び留学期間

留学先：北京師範大学 漢語文化学院

留学期間：2019年8月26日～2019年12月28日

## 2 留学先概要



中国で最も早く創立した近代教育機関の一つ。現在は、中国政府公認の重点大学の一つでもあり、北京・清華・中国人民と並ぶ北京の「四代名校」と称される。北京の中心部に位置し、社会施設の利用、街や史跡の見学にも便利である。

北京師範大学は22の学院、36の研究院及び多数の学術研究所を持つ総合大学で、国際交流においては、日本はもちろん、韓国・アメリカ・イギリス・ドイツ等の国との大学間交流を行っている。

派遣先の漢語文化学院は、著名な言語学者や人文社会科学分野で活躍する学者が多く、世界各国から多くの留学生・研究者が来ており、中国語・中国文化の教育には優れた経験と実績がある。

## 3 留学目的

今回の留学は、中国語のコミュニケーション能力向上、中国の伝統文化に触れること、そして、中国のイメージはニュースで見る中国と同じであるかを自分の目で確かめるというのが目的だった。今でこそ尖閣諸島のような日中関係の悪化に関するニュースはそれほど報道されていないが、ほとんどの人が中国に対し、マイナスのイメージを抱いている。その反面、中国は著しい社会発展を遂げている。そんな中国に対する先入観・偏見を捨て、中国の真の姿を自分の目で確かめ、中国のプラスの面も見つけてくるというのも目的だった。

## 4 留学内容

## (1) 主なスケジュール

8月	26日	月	北京到着・入寮	
	27日	火	銀行口座開設	
	28日	水	携帯電話購入	留学生登録手続き
	29日	木	クラス分けテスト	
	30日	金	入学式	
	31日	土	日本人会オリエンテーション	
9月	1日	日	クラス分けテスト結果公布・教科書購入	
	2日	月	授業開始	
	7日	土	新入生歓迎会	
	13日	金	中秋節	
	14日	土	日本語学科学生との交流会	
10月	1日	火	国慶節	内モンゴル旅行
	2日	水		
	3日	木		
	4日	金		
	5日	土		
	6日	日		
	7日	月		
	30日	水	口頭試験	中間考査
	31日	木	筆記試験	
	11月	1日	金	リスニング試験
3日		日	安徽文化考察	
4日		月		
5日		火		
6日		水		
7日		木		
8日		金		
9日		土		
12月	20日	金	授業終了	
			口頭試験	期末考査
	23日	月	筆記試験	
	24日	火	リスニング試験	
	27日	金	修了式	
28日	土	帰国		

## I 留学生登録手続き(8月28日)

パスポート、留学申請書、日本で加入した医療保険の証明書等を提出し、現地の医療保険に加入(保険料は半年で400元)。

## II クラス分けテスト(8月29日)

筆記・リスニング試験を行った後、簡易的な面接を受ける。この結果に基づいて各クラスに割り振られる。

## III 入学式(8月30日)

留学生としての心得や、北京市内での生活・交通に関する注意点などを聞いた。

## IV 日本語学科学生との交流会(9月14日)

日本語学科の生徒との交流会。日本に関するクイズや折り紙の披露などをした。後半は自己紹介などをし、お互いの大学生活などについて語り合った。

## V 内モンゴル旅行(10月3~5日)

北京優合クリニック主催で、日本人留学生参加の短期旅行。師範大だけでなく、他大学の留学生も参加するので、交流する機会がある。

## VI 文化考察(11月3~9日)

漢語文化学院主催、日本でいう修学旅行のようなもの。寝台列車で安徽省へ行き、北京と一味違った伝統文化を体験した。

## VII 中間考査・期末考査(中間：10月31日・11月1日/期末：12月23・24日)

これまでの学習の成果を試す試験。なお、口頭試験は筆記・リスニング試験の前にはあらかじめ行われた。

## VIII 修了式(12月28日)

各クラスから最優秀生徒が選出され、賞状と記念品が贈られた。ほかの生徒も成績表と卒業証明書をもらった。

## (2) 時間割と授業概要

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限	听力	会话		读写	会话
2時限	(リスニング)	(スピーキング)		(リーディング)	(スピーキング)
3時限	读写	听力	会话	听力	读写
4時限	(リーディング)	(リスニング)	(スピーキング)	(リスニング)	(リーディング)
5時限				辅导	
6時限				(チュートリアル)	
7時限		中华才艺			
8時限					

## I 听力(リスニング)

リスニング力を上げる授業。章末では、章の内容に関する小テストやスクリプトに関する問題を自分で作成するという課題が出された。

## II 读写(リーディング)

読解力を上げる授業。宿題は付属の練習ドリルの指定された問題を解くというのが多かった。

## III 会話(スピーキング)

コミュニケーション能力を上げる授業。宿題は、グループチャットにダイアログや単語を録音したものを個々人で送信し、次の日に先生から発音などの指導を受けた。試験は筆記と口頭試験。

## IV 辅导(チュートリアル)

授業内で分からなかった部分などを先生に聞いたりする時間。自習の時間のようなもので、強制参加ではない。

## V 中华才艺

中国の芸術や文化を学ぶ授業。書道・切り絵・茶道・太極拳を学んだ。

※ なお、听力、读写、会話には、共通して章末に听写(ディクテーション)があり、習った単語を聞き、書き取るという小テストのようなものがあった。その意味では単語の復習はどの課においても必須だった。

## 5 自己評価

自分の中国に対する先入観は、この留学で無くなった。生活の中でちょっとした弊害こそあったが、それを悪く考えず、むしろ日本と違う環境として感じた。この留学で得た収穫はコミュニケーション能力を向上できたことだ。学校の授業のおかげもあって、買い物に行ったときは積極的に店員に話しかけたり、クラスメートとも中国語で会話できた。

## 6 反省と課題

今回の留学での反省点は、現地で HSK を受験する機会を逃してしまったことだ。HSK は、中国政府が公認し、なおかつ世界規模で受けられている中国語検定だ。日本で受けた中国語検定こそ持っているが、中国語検定はあくまで日本人向けの試験なので、外国人として中国語をテストする HSK を受けなかったことが、中国語力を向上させる機会を逃してしまったといえる。

## 7 謝辞

今回の派遣留学を行うにあたって、サポートして下さった佐藤若菜先生・區建英先生、現地で授業を受け持ってくださった听力課の徐先生、会話課の靳先生、读写課の吴先生、中华才艺の邓先生、留学生生活をサポートしてくれた罗颖さん、その他留学生活に携わってくれた方々へ感謝の念を申し上げたいと思います。ありがとうございました。

## 8 付録

### (1) 内モンゴル旅行日程



3日	草原での乗馬体験、ゲル宿泊
4日	砂漠での、ジップラインなどのアスレチックやラクダに乗る体験
5日	博物館見学

### (2) 安徽文化考察日程



	午前	午後
3日		北京西駅 出発
4日	績溪駅 到着 胡氏宗祠 見学	中国宣紙文化園 見学 紙漉き体験
5日	地元の中学生との交流会	胡開文墨厂 見学
6日	黄山 登山	
7日	宏村 見学	徽字号非遺伝習所 訪問、竹彫り体験 徽州糕餅博物館 見学 徽州文化博物館 見学
8日	徽州古城 見学	黄山駅 出発

9日	北京西駅 到着	
----	---------	--